

令和7年度第1回宮古構想区域地域医療構想調整会議
(宮古圏地域医療協議会) 会議概要

日 時：令和7年10月20日(月) 午後6時30分～午後7時30分

場 所：宮古地区合同庁舎 3階大会議室(参集)

出席者：委員18名中、出席12名、代理出席3名、欠席3名
事務局9名(保健所7名、医療政策室2名)

1 開会(吉田 宮古保健所次長)

2 挨拶(杉江 宮古保健所長)

3 報告事項

新たな地域医療構想の策定・保健医療計画の中間見直しについて

医療政策室の西川医療政策担当課長から資料1のとおり説明。

【発言要旨】

○ **宮古保健所 杉江保健所長**

かかりつけ医機能報告制度について、義務ではなく、必ずしもかかりつけ医として手を上げなくてもよいとの認識でよいか。

○ **医療政策室 西川医療政策担当課長**

お見込みのとおり。あくまで報告ということで、各医療機関の自主的な報告に基づいて議論していくというもの。

○ **宮古保健所 杉江所長**

医療資源がない中で、国が求める体制構築は医師会、医療機関、高齢者施設の関係者等に負担がかかるのでは。

○ **医療政策担当課長 西川医療政策担当課長**

医療資源が限られている中、どこまでできるのか明らかにした上で見える化をしていくのが岩手県の実情に応じた取り組みになるかと考える。

○ **宮古医師会 林会長**

新たな地域医療構想の策定について、基本的な4つの方向性の内、「医療の質や医療従事者の確保」を固めてやっていかないと、24時間提供体制の構築は難しいのではと思う。

○ **宮古歯科医師会 昆会長**

かかりつけ医機能報告制度の報告事項に歯科医療機関は除くということで、歯科は、こういった立場で連携を深めてゆけばよいか。

○ **医療政策室 西川医療政策担当課長**

新たな地域医療構想の国の検討会で、歯科等の役割が議論に出てきていることから、今後、国の状況を見ながら情報提供していきたい。

○ **宮古薬剤師会 千代川会長**

参考の「在宅医療への理解促進」の県の取組等について、薬剤師向けの研修の内容は具体的に決まっているか。

○ **医療政策室 西川医療政策担当課長**

取組については、既に実施しているものも記載しており、研修の内容は、年度ごとに都度テーマを変えて行っている。

○ **宮古病院 佐藤院長**

医療従事者が今後減るとのことだが、医師はもちろん、医師以外も既に不足しており、募集しても定員割れしている。基本的な4つの方向性について、まず医療従事者の確保がないと、他の3つに取り組むことが難しい。

また、財政的な問題について、加算がつく取り組みは実施しているものの、人員不足のあおりがある。バランス的には致し方ないと思うが、財政規模が少ないところには人が来ない。

報告するまでもなく色々問題がわかっていると思うが、早急に対策が必要と考える。

○ **宮古市**

医療に限らず介護も人材が不足している。介護では、外国人労働者を探すなどして人材確保を図っているところもある。介護人材の確保は、医療と介護の連携を図る上でも進めていかなければならない課題と感じている。

○ **宮古保健所 杉江保健所長**

個人的な考えではあるが、地域医療構想区域について、宮古だけでやるというのはかなり厳しいのではないかと感じている。

国が示した今年8月27日の第3回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会の資料の中に、構想区域について、人口規模100万人以上の「大都市型」、50万人程度の「地方都市型」、30万人未満の「人口の少ない地域」の3つ考えられているが、宮古圏域は10万人届いていない。

人口の少ない地域について、国の説明資料では、「20万人未満の地域については、実現可能かどうかをしっかりと検討するように」と記載されていることから、機械的に構想区域を今の2次医療圏と同じような考え方としてよいのかと感じているところ。

現時点でどのような方向性又は考え方であるか。

○ **医療政策室 西川医療政策担当課長**

構想区域＝医療圏となるかと思うが、現在の保健医療計画上は、計画期間内に見直しの検討を行うとの記述があることから、今回の地域医療構想の策定に併せて、検討を進める必要があろうかと思っている。

30万人程度の医療圏を国が想定していることについて、医療圏ごとに、急性期拠点機能を有する病院を基本的に1つ確保ということがある。急性期拠点機能を有する病院のあり方と、医療圏＝構想区域のあり方をセットで議論していくこととなるかと思うので、そのように検討を進めていければと思っている。

○ **宮古保健所 杉江保健所長**

県立病院の今後のあり方に直結していく問題ではないかと感じている。これまで委員から発言のあった医療従事者の確保という点でも、今のままの県立病院のありかたでよいのかという問題が、2040年までとだいぶ先になりますが、10年後・20年後を見据えた議論を色々な自由な発想で考える必要があるのかなと考えている。

4 議題

紹介受診重点医療機関について

宮古保健所の大須賀管理課長から資料2のとおり説明し、引き続き県立宮古病院を紹介受診重点医療機関とすることについて、了承を得た。

【質疑・意見等】

なし。

5 その他

次回開催の日程及び開催形式については、状況に応じて検討。

6 閉会（吉田 宮古保健所次長）